

第 58 号

電 気 技 術 史

The History of Electrical Engineering

Newsletter

CONTENTS

- ・2012 IEEE Technical Tour Japan について 松本栄寿 P.1
- ・ヒストリー・トリップ「スミソンとその生涯-2」 松本栄寿 P.2
- ・企業・研究所・大学ロゴの歴史(18) 東北大学の校章 永田英明 P.3
- ・INFORMATION P.4

平成 24 年 6 月 1 日発行

(社) 電気学会 電気技術史技術委員会 http://www.iee.or.jp/fms/tech_a/ahee/index.html

2012 IEEE Technical Tour Japan について

IEEE JCHC 幹事 松本栄寿

5 月 20～5 月 28 日の日程で、**IEEE Technical Tour Japan** のグループが来日した。京都から東京へ、10 ヶ所のマイルストーンを巡る旅である。最近では IEEE の委員や特定の技術者を除いて、日本の技術者を目標に技術者を主体とするグループが来日する例はあまり聞かない。

日本は明治の初めから産業立国を目指し、教育制度や技術を学ぼうと西欧からお雇い外国人を招いた。それらの技術を元に第二次世界大戦に挑んだが、総合技術とエレクトロニクスに敗退した。戦後は再び技術導入をいそぎ、高度成長時代を迎え、**Japan as No.1** の幻想に走った。だが、技術開発を急いだ、産業遺産や技術遺産に目を向けることはなかった。気がつくや技術者が汗を流した技術遺産は残されていない。歴史に学ぶ欧米との格差は大きかった。

アメリカに本部をおく学会 IEEE では、1980 年に**歴史センター**を設立し、歴史の散逸を防ごうとした。さらに 1983 年には「マイルストーン」を発足させた。技術の歴史を社会に周知し技術者の地位向上に結びつける手だてである。日本はどうか、電気学会の**電気技術史技術委員会**が発足したのは 1990 年、「**でんきの礎**」を始めたのは 2008 年である。電気技術者が技術遺産・産業遺産を意識してから、ようやく四半世紀を迎えようとしている。

これらの産業遺産はしがみつくものでもなく、懐かしがるだけでもない。IEEE ではテクニカルツアーを始め、技術の記憶を社会により広く周知させようとしている。

第一回パナマツアー (2010 年 3 月) は運河の旅である。スエズ運河の成功を持ち込んだフランスの土木工事は失敗、熱帯病対策から着手したアメリカが勝った。運河は、蒸気動力をすべて電気動力・電気通信に切り替えた GE 社が成功した。1914 年に開通した百年前の技術



が現在も現役で稼働している様子には感銘を覚える。(32 名参加・ニューズレター第 53 号)

第二回 UK ツアー (2011 年 5 月) は産業革命の地、イギリス・スコットランドである。電気の理論、発明、技術の原点は、19 世紀末から 20 世紀の大英帝国である。フランクリン、マクスウェル、ファラデーと電気の元祖を見よう。世界の電信網を一手にしたイギリスの海底ケーブルは、ロンドン科学博物館展示がある。明治のお雇い外国人や小学唱歌となったスコットランド歌曲も耳にできる。ロンドンの名だたるレストランでディナーを楽しむ旅であった。(50 名参加・ニューズレター第 56 号)

第三回日本ツアー (2012 年 5 月) はどう実現するか、ツアーはご夫婦づれが多数を占める。知恵を絞ったのが、マイルストーンを中心に置く旅である。IEEE のマイルストーンは 120 件をこえ、日本も 17 件となった。これまでも**新幹線**、**デジカメ**は日本の技術として広く知られているが、その他のレーダーもエレクトロニクスも欧米の模倣と見られている。

日本の技術にも歴史があることは、マイルストーンの実物が良い。参加者には米軍の一員として日本に駐在、日

本の復興を体験した方々もある。久しぶりの日本を堅苦しくなく、スモーランチ、秋葉原も加えエンジョイしていただく。(27 名参加)

どの旅も、技術者同志が 10 日間を共にする楽しい旅であった。電気学会でも「でんきの礎」を一步すすめて「ふり返れば未来が見える旅」はいかがだろうか。



2012 IEEE Technical Tour Japan 2012 年 5 月 22 日 蹴上水力発電所にて

ヒストリー・トリップ「スミソンとその生涯-2」

---ロンドンとスミソンの足跡

松本栄寿

ロンドン市内を歩いていて、ふと建物の壁に径 40 センチほどのブルーの円盤が掛けられているのに気づくことがある。これは歴史的に評価された人物や建造物の記念碑である。1866 年に始められ、いまではイングリッシュ・ヘリテージ協会が管理している。現在まで約 850 枚が設置されている。

スミソン(1765-1829)は学生時代から、ロンドン近辺で幾つか住まいをかえた。

1) ベンティンク・ストリート(Bentinck Street)9 番地には、スミソンのプラークが掛けられている。(2008 年 12 月設置)

プラークには、James Smithson(1764-1829), Scientist, Founder of the Smithsonian Institution lived here. (科学者、スミソニアン協会の創始者の居住地)と書かれている。

スミソンはこの地で、1826 年 10 月 23 日、有名な遺書を書いた。死の 3 年前である。

---この遺書に「甥のヘンリー・ジェームズ・ハンガーフォードに、私の全財産から生じる全収入を与え遺贈する。



図 1 スミソンのプラーク



図 2 ベンティンク・ストリート街並み

甥が子供を残さず死亡した場合、私は、ワシントンにスミソニアン・インスティテュションという名前で、知識の増大と普及に寄与する組織を設立するために、全財産をアメリカ合衆国に遺贈する」と書かれている。この文言に従い、のち全財産 50 万ドルはアメリカ合衆国に贈与される。

2) なんと隣のベンティンク・ストリート(Bentinck Street)7 番地には、「ローマ帝国衰亡史」の著者、歴史家のエドワード・ギボン(Edward Gibbon, 1737-1794)が住んでいた。ここにもブループラークがある。

3) サイオン邸(Syon House)——ロンドンの西、王立植物園の近く。スミソンの実父ノーサンバーランド公爵のロンドンの居城である。スミソンの学生服姿の写真がある。1980 年にスミソニアン長官リプリーが贈った。次の説明がある。「ジェームズ・スミソンの肖像画 (1786 年ペンブルック・カレッジ在籍中) 油絵の写真。1980 年 12 月 22 日リプリー長官からパーシー伯爵に贈呈」。

4) カールトン・ハウス(Carlton house)

ここには、現在ロイヤル・ソサイエティが入っている。図書室にはスミソンの入会証や、提出論文の原本が保管されて

いる。

5) ペンブルック・カレッジ(Pembroke College)——オックスフォードのスミソンの出身校。

オールド・ライブラリー(Old Library)の建物入口壁面に、スミソンの横顔の銘板がはめこまれている。「ジェームズ・スミソン、ロイヤル・ソサイエティ会員。スミソニアン協会創設者。1896 年スミソニアン協会設置」。横顔は月桂樹で飾られている。協会の設立 50 年目に設置されたもので、同時にスミソニアンの出版物一式が寄贈された。ペンブルック・カレッジはオックスフォード大学に 40 以上あるカレッジの一つである。1624 年、国王ジェームズ一世により創立された。



図3 オックスフォード・ペンブルック・カレッジのスミソン胸像(旧図書室入口)

企業・研究所・大学ロゴの歴史(18)

東北大学の校章

東北大学学術資源研究公開センター准教授 永田英明

東北大学は、1907 年(明治 40 年)に東京・京都に続く三つ目の帝国大学として設立され、平成 19 年 6 月に創立百周年を迎えました。現在本学では、創立百周年を機に大学の「学章」として公式に定められたロゴマーク(図 1)を使用しています。このロゴマークは平成 17 年に作成されたもので、「creativity」「global」「tradition」をキーコンセプトに、昔から宮城野萩や仙台を象徴する植物とされ、本学の種々のマークにも使われてきた「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と想像力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。

一方、この公式ロゴマーク制定まで教職員や学生に親しまれてきたのが、「東北大」の文字を宮城野萩が取り囲むシンボルマーク(図 2)です。このマークは昭和 24 年に「東北大バッジ」の図案として学友会が公募制定したもので、当時工学部 3 年生のデザインが採用されたものです。戦後学制改革によって旧帝国大学・高等学校・専門学校・師範学校等多様な学校を包括するかたちで発足した東北大学において、この図案は新制大学としての発足を象徴するものとして親しまれ、平成 17 年に上記のロゴマークが制定されるまで、東北大学の事実上のシンボルマークとして様々なかたちで使われていました。



図 1



図 2

このデザインによる「東北大学バッジ」が作られた頃、男子学生はまだ学帽・詰襟という学生服スタイルが一般的でした。当時の学生は襟章等に学友会制定の「東北大」シンボルマークを使う一方で、頭には徽章をつけた学帽(図 3)をかぶっていました。「大学」をあしらったこの徽章は東北帝国大学時代から使われていたもので、要するにこちらは旧帝大としての伝統を表現したとも言えます。もっとも 1960 年代には学帽をかぶるという文化じたいが消滅してしまいますので、こちらの方は戦後比較的早い段階で使われなくなってしまったようです。



図 3

東北大学ではこのほかもうひとつ、蜂のマーク(図 4)もよく使われます。これは旧制第二高等学校の校章であったものです。蜂のマークは主として体育会系の部やサークルなどで自主的に使われているようです。体育会系の部活動が伝統を強調する際、本学では帝国大学よりも旧制高校との連続性のほうが強く意識されたということでしょう。



図 4

東北大学のシンボルマークはこのようにバラエティに富んでおり、それ自体が近代の大学史を反映したものとなっています。

INFORMATION

1. 第 59 回電気技術史研究会開催案内

〔委員長〕鈴木 浩（日本経済大学大学院）
〔幹事〕福井千尋（日立製作所）、木村達也（東芝）
〔幹事補佐〕竹岡義夫（東芝）、西川隆博（三菱電機）

日 時：2012 年 6 月 8 日(金) 13:00～16:40

場 所：電気学会会議室（東京都千代田区 5 番町 6-2
HOMAT HORIZON ビル 8F）

テーマ：IEEE マイルストンの受賞技術とその歴史的意義および電気技術史一般

協 賛：映像情報メディア学会、照明学会、情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE 東京支部（予定）

座 長：大来雄二（金沢工業大学）

HEE-12-008 〔特別講演〕 IEEE Milestone の概要と日本の受賞について
大野栄一(IEEE Japan)

HEE-12-009 東海道新幹線の安全安定輸送を支える主要技術
森厚人(東海旅客鉄道)

HEE-12-010 イノベーションからみる日本語ワードプロセッサ
土井美和子(東芝)

HEE-12-011 黒部川第四発電所開発の歴史について
篠嶋史憲(関西電力)

HEE-12-012 世界最初の直接放送衛星サービス
沢辺栄一(元 NHK 技術研究所)

HEE-12-013 電界放出形電子顕微鏡の実用化
鈴木誠、江角真、佐藤貢（日立ハイテクノロジーズ）

HEE-12-014 G 3 ファクシミリの 2 次元符号化技術と国際標準化 -IEEE Milestone 認定を記念して-
結城皖曠、山田豊通(元 NTT 電気通信研究所)、
山崎泰弘、若原恭(元 KDD 研究所)

HEE-12-015 初期の電子式卓上計算機（電卓）の開発について
山田 昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)

2. 第 60 回電気技術史研究会論文募集

日 時：2012 年 9 月 3 日(月)

共 催：電気学会東京支部

場 所：東京

テーマ：電気技術史一般

申込締切：2012 年 6 月 20 日(水)

3. 公開ワークショップ「根本的エンジニアリングの視点から見た日本の技術開発」開催案内

概 要：我が国では、20 世紀にはいくつかのイノベーションが実現しているが、近年、多くのイノベーションが生まれていないのはなぜか。こうした低迷時代には、これまでのイノベーションの歴史を見直し、これらを体系づけることが有効である。本ワークショップでは、根本的エンジニアリングの視点で日本型イノベーションの特徴を探り、新たなイノベーションへの道を拓く。

日 時：2012 年 6 月 25 日(月) 13:00～15:00
(参加費無料)

場 所：日本経済大学 渋谷キャンパス 246 ホール
(渋谷区桜丘町 24-5、渋谷駅から徒歩 2 分、
セルリアンタワー手前、国道 246 沿い)

演 題：

「根本的エンジニアリングとはなにか」

日本経済大学大学院 教授 鈴木 浩

「日本型イノベーションの洞察」

国立科学博物館 主任調査員 永田宇征

主 催：日本経済大学大学院 メタエンジニアリング
研究所

共 催：(社)電気学会 電気技術史技術委員会 他

参加申込先、問合せ先：

鈴木 浩 日本経済大学大学院

hiroshi.suzuki@tk.jue.ac.jp

電話 03-3463-4115 FAX 03-3463-5211

電気技術史 第 58 号

発行者 (社)電気学会 電気技術史技術委員会
委員長 鈴木 浩
編集人 News Letter 編集委員会
松本栄寿、鈴木浩、奥田治雄
〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2
HOMAT HORIZON ビル 8F
発行日 平成 24 年 6 月 1 日
禁無断掲載 Copy right: 発行者